



平成25年証券アナリスト第1次試験（秋試験）

解答速報！

2013/10/10 現在

【証券分析とポートフォリオ・マネジメント】

第1問（15点）

問1 A 問2 B 問3 C 問4 C 問5 B 問6 A 問7 C 問8 D
問9 C 問10 A 問11 C 問12 C 問13 A 問14 A 問15 D

第2問（30点）

I

問1 D 問2 C 問3 C 問4 B 問5 D 問6 D 問7 D

II

問1 B 問2 A 問3 E 問4 D 問5 D

III

問1 B 問2 A 問3 C 問4 D

第3問（30点）

I

問1 B 問2 B 問3 B 問4 C 問5 A

II

問1 B 問2 E 問3 B 問4 C 問5 B

III

問1 C 問2 A 問3 D 問4 D 問5 A

第4問（35点）

I

問1 B 問2 B 問3 D 問4 D 問5 C 問6 A

II

問1 E 問2 A 問3 E 問4 C 問5 B 問6 D

III

問1 B 問2 C 問3 D 問4 C 問5 B 問6 A

この解答速報の著作権は、TAC（株）のものであり、無断転載・転用を禁じます。

TAC

第5問 (30 点)

I

問1 A 問2 B 問3 A 問4 B 問5 C 問6 C 問7 D 問8 B
問9 A 問10 D

II

問1 D 問2 B 問3 A 問4 C 問5 E

※ I 問5 は A も正解（日経平均株価先物取引の限月は、本年7月16日より、従来の5限月取引から13限月取引に移行しているため「正しくない」）。

第6問 (40 点)

I

問1 B 問2 B 問3 A 問4 D 問5 C

II

問1 A 問2 B 問3 D 問4 E 問5 C

III

問1 C 問2 A 問3 B 問4 D 問5 E

IV

問1 A 問2 C 問3 A 問4 D 問5 C

この解答速報の著作権は、TAC（株）に帰属するものであり、無断転載・転用を禁じます。

なお、この解答速報は、TAC 独自の見解に基づくものであり、正解であることを保証するものではありません。また、後日情報を更新する場合がありますので、ご質問などの受付はいたしかねます。

この解答速報の著作権は、TAC（株）のものであり、無断転載・転用を禁じます。



2013 証券アナリスト 1 次試験（秋）

「証券分析とポートフォリオ・マネジメント」

過去 4 回の問題数・配点は以下の通り。

平成 24 年（春）～平成 25 年（秋）

問 題	分 野	平成 24 年 （春）	平成 24 年 （秋）	平成 25 年 （春）	平成 25 年 （秋）
第 1 問	日本の証券市場	14 問 (15 点)	14 問 (15 点)	15 問 (15 点)	15 問 (15 点)
第 2 問	企業のファンダメンタル分析	15 問 (28 点)	15 問 (28 点)	15 問 (30 点)	16 問 (30 点)
第 3 問	株式分析	16 問 (32 点)	16 問 (32 点)	15 問 (30 点)	15 問 (30 点)
第 4 問	債券分析	18 問 (35 点)	18 問 (35 点)	18 問 (35 点)	18 問 (35 点)
第 5 問	デリバティブ分析	15 問 (30 点)	16 問 (30 点)	15 問 (30 点)	15 問 (30 点)
第 6 問	ポートフォリオ・マネジメント	20 問 (40 点)	20 問 (40 点)	20 問 (40 点)	20 問 (40 点)
合 計		98 問 (180 点)	99 問 (180 点)	98 問 (180 点)	99 問 (180 点)

例によって大問 6 問という形式、および各大問の内容に大きな変化はなく、引き続き小問合計 100 問割れとなっている。今回の出題内容は、第 2 問「企業のファンダメンタル分析」はほぼ財務分析のみ、第 3 問「株式分析」の株式価値評価は配当割引モデルのみ、第 5 問「デリバティブ分析」は株式の先物およびオプションのみといった具合で、万遍なくと言えば万遍なくなのだが、分野によってはそれなりに結構偏った。難易度としては従来からの易化・簡潔化傾向に変わりなく、とりわけ今回は正誤問題、計算問題とも明らかに易しくなっている。とくに正誤選択は、これまでにみられた協会通信テキストの記述をピンポイントでそのまんま拾ったわけのわからない選択肢がなくなり、きちんと内容を問う良質な問題が大半だった。第 1 問「日本の証券市場」も回によって常識レベルで正解できるような問題が多いときと、協会通信テキストを詳細に読み込まないと正解を選べない問題が多いときがあるが、今回は比較的前者が多かったようで答えやすかったのではないだろうか。また、第 2 問「企業のファンダメンタル分析」は、M.ポーターの競争理論を中心とする経営学周辺トピックがとうとう完全に姿を消した。「もうポーターは卒業」といった印象だ。

以上